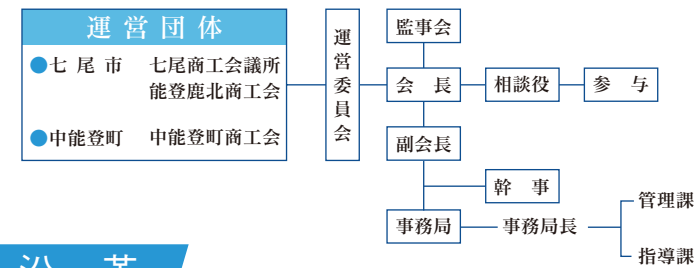


能登織維振興協会

組織・管理体制



沿革

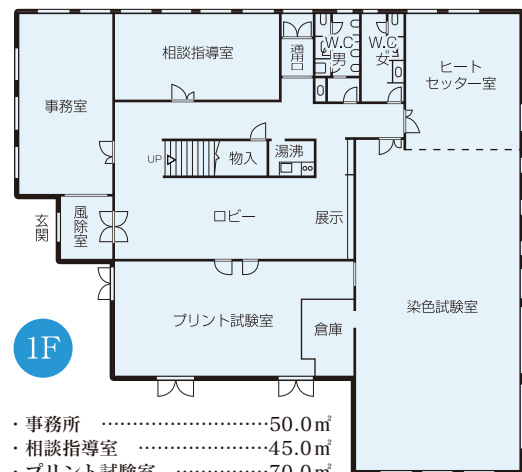
- 昭和54年 4月17日 鹿西三町織維技術相談所設立総会 (鳥屋町・鹿島町・鹿西町・鳥屋町商工会・鹿島町商工会 鹿西町商工会で運営)
- 昭和54年 5月 1日 開所式
- 昭和58年 12月 1日 石川県工業試験場「能登地区織維技術相談所」開設
- 平成 4年 2月27日 能登織維振興協会設立総会 (鹿西三町織維技術相談所を解散し改称) 田鶴浜町・田鶴浜町商工会が運営に参加
- 平成 4年 4月 1日 業務開始 (能登テキスタイル・ラボへ入居)
- 平成 5年 10月 1日 七尾市・七尾商工会議所が運営に参加
- 平成16年 10月 1日 七尾市・田鶴浜町・中島町・能登島町が合併し、七尾市となり運営団体に変更
- 平成17年 3月 1日 鳥屋町・鹿島町・鹿西町が合併し、中能登町となり運営団体に変更

業務内容

- 能登テキスタイル・ラボの管理運営
 - ・石川県工業試験場「能登地区織維技術相談所」開設の協力
 - ・関係行政機関、諸団体への手続き等の指導および連絡
- 技術相談指導
 - ・糸、織物の拡大画像撮影、簡易な物性試験および欠点解析
 - ・織物組織、染色方法に関する指導
- 染色試験
 - ・浸染による染色試験
 - ・染色試験により発現した織物欠点の指導
- テキスタイルインクジェットプリント試験
- 新商品の開発支援
 - ・織物分解設計
 - ・染色およびテキスタイルインクジェットプリントによるサンプル作り
- 研修会等の開催
- 情報収集提供

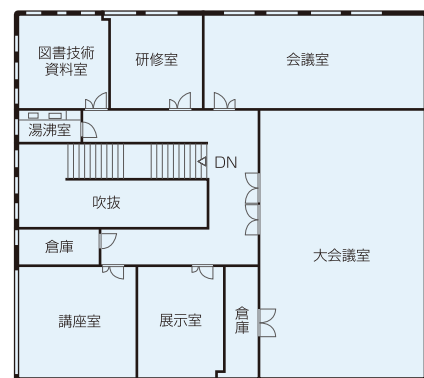
能登テキスタイル・ラボ 施設の概要

＜構造＞ 鉄骨造り2階建 駐車場/62台
 ＜完工＞ 平成4年3月
 ＜面積＞ 敷地:2,224㎡
 建物:950.13㎡ 1階:542.80㎡
 2階:407.33㎡



1F

- ・事務所50.0㎡
- ・相談指導室45.0㎡
- ・プリント試験室70.0㎡
- ・ヒートセッター室44.1㎡
- ・染色試験室162.0㎡
- ・ロビー100.35㎡
- ・その他71.35㎡



2F

- ・図書技術資料室25.0㎡
- ・研修室25.0㎡
- ・会議室60.0㎡
- ・大会議室131.41㎡
- ・展示室31.2㎡
- ・講座室42.25㎡
- ・その他92.47㎡



能登テキスタイル・ラボ 能登織維振興協会

〒929-1717 石川県鹿島郡中能登町良川17部17番地1
 TEL (0767) 74-2271 FAX (0767) 74-2275 E-Mail noto@txlabo.gr.jp
 <URL> <http://www.txlabo.gr.jp/>

NOTO TEXTILE LABO

地域織維産業の技術交流拠点

能登テキスタイル・ラボ
能登織維振興協会

染色試験

繊維欠点の発現確認およびサンプル作りを目的として、繊維やニットなど生地染色試験を実施しています。一般的な精練、染色、ヒートセットを実施した場合、通常は受付から返却まで1~2日の短期間で行います。また、試験目的や生地の糸使い等によって染料や精練・染色条件を変えながら、お客様のニーズにお応えしています。



横置円筒型高圧染色機
染料役者 SY-4000

- ・最高温度 135℃
- ・最大加工量 4kg
- ・標準液量 20~100ℓ
- ・精練、減量、染色の3工程に対応可能



高温高圧染色機
高圧染太郎 K-8型

- ・最高温度 135℃
- ・最大加工量 5kg
- ・標準液量 50~100ℓ
- ・リラックス効果のある回転ドラム染色機



高温高圧ビーム染色機
ミスタービーム BD3-L900

- ・最高温度 135℃
- ・最大加工量 3kg
- ・標準液量 90ℓ
- ・ナイロン繊維やシルクになりやすいタフタの染色に適する
- ・100℃以下の温度でも加工染色が可能



ミニヒートセッター
張仕郎 K-2000X

- ・セット温度 200℃まで可能
- ・セット生地サイズ 幅 60~200cm 長さ 23~50cm



赤外線加熱ピーカー染色試験機
MCD-306EPT

- ・最高温度 140℃
- ・生地重量 3~10g
- ・染色ポット 300ccx6個
- ・温度制御 6ポット個別に温度制御可能



高圧液流染色機
小型省スペースタイプ
MINI-KSPD-10

- ・最高温度 135℃
- ・最大加工量 10kg
- ・標準液量 100~300ℓ
- ・生地が噴射液流によりフローチューブ内を循環する染色機
- ・精練、減量、染色の3工程に対応可能



小型連続ヒートセッター

- ・セット温度 230℃まで可能
- ・生地幅 50~200cm
- ・長い生地のセットが可能
- ・オーバーフィード装置付き
- ・自動追従装置付きで、結反した生地の連続セットが可能



染色試験室



石川県中能登地域の七尾市・中能登町は、化学合成繊維の先進地として、歴史ある世界有数の産地です。能登上布の往古以来、この地の繊維産業が、先人たちの努力のお陰をもって地場産業として発展し、繊維産地石川の拠点として重要な役割を担っています。

品質向上と
商品開発支援のための
試験設備

繊維技術指導および商品開発支援

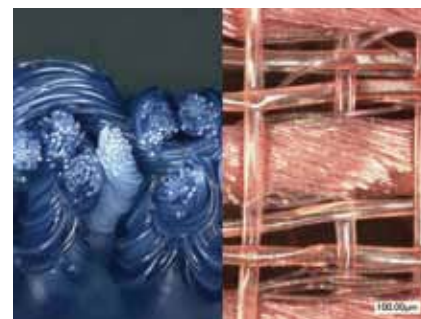
■ 簡易な繊維欠点の解析

実体顕微鏡およびデジタルマイクロスコブによる糸、織物の表面・断面観察と撚り数、織度、織り縮み、フィラメント数等の測定による繊維欠点解析の実施

■ デジタルマイクロスコブによる糸・織物の拡大画像の撮影、プリント、データ提供

■ 繊維分解設計

繊維組織および織り方図の指導
繊維分解および設計書作成による商品開発支援



【撮影画像】



相談指導室

デジタルマイクロスコブ VHX-1000

- ・2種のズームレンズにより20~1,000倍まで、高解像度で深い被写界深度の観察が可能
- ・高倍率で高視野観察、3D表示が可能
- ・画像のプリントアウトやJPEG、TIFFでのデータ渡しが可能



テキスタイル インクジェットプリント

テキスタイルプリントとは、繊維にプリントをすることです。従来の繊維プリントは、ローラ捺染、スクリーン捺染などの大量生産型のプリント方法でしたが、近年、オンデマンドに対応できるテキスタイル用インクジェットプリンタの普及が進んでいます。テキスタイルインクジェットプリンタは、従来のローラ捺染、スクリーン捺染と比べ廃水、電気エネルギー消費量の大幅な削減ができる環境にやさしい優れた技術として注目されています。また、デザインもぼかしやグラデーション、多色、写真など細密な表現も可能になりました。能登繊維振興協会では地域で製造された繊維に、このテキスタイルインクジェットプリンタを使ってプリント試験を行っています。



転写プレス機 HSP-5400

- ・最大プレスサイズ 50cmx40cm
- ・最高温度 200℃



インクジェットプリンタ
GP-1810

- ・少ロットプリントに適するアパレル用のインクジェットプリンタ
- ・織物用フラットベッドタイプでプリントサイズは最大 186cmx101cm
- ・捺染顔料と分散染料を搭載



インクジェットプリンタ
Tx2-1600

- ・ポリエステル製の長尺生地のプリントに適する連続タイプ
- ・最大プリント幅 162cm
- ・分散染料を搭載



インクジェットプリント前処理機
前処理君 W-1600

- ・自動糊付け乾燥巻取り機
- ・最大加工幅 155cm



広幅インクジェットプリンタ
PX-H10000

- ・特殊加工を施した繊維のプリントに使用
- ・最大プリント幅 111.8cm
- ・顔料インクを搭載



発色機 MAIKA 1600S

- ・遠赤外線ヒーターによる発色
- ・非接触タイプでチリメンなど凹凸のある生地風合いを損ねることなく発色可能